

より快適で長持ちする家づくりをかなえる ユーザーサポートクラブの活用法

雨仕舞いに関する最新情報をお届け! 資料請求も可能
弊社が主催する見学会やイベントなど、最新情報をお届けします。また、雨仕舞いのポイントがわかる小冊子、カタログなどの資料請求も可能です。

「こだわりビルダー」として登録すれば、貴社ホームページへのリンクも可能
タイベック®のお施主様向けサイトで、家づくりの相談相手として貴社をご紹介。連絡先や家づくりのモットーのご紹介、ホームページへのリンクボタンを設置し御社をPRします。

イラスト素材・グラフなどのデータ、バックナンバーをダウンロードできる!
貴社の各種ツールに自由に使えるイラストやグラフなどのデータ、ビルダー様のインタビュー記事が掲載された会員向け「CLUB NEWS LETTER」のバックナンバーもダウンロードできます。

すぐに使えるサポートツール、素材、施工動画をご紹介!
施工参考資料やパンフレット、販売促進のためのツールを無料でご提供。正しい施工方法・手順がわかる動画もダウンロードできます。

クラブ会員の方だけの充実したサポートを今すぐチェック!



<https://www.tyvek.co.jp/construction/user/>

タイベック ユーザーサポートクラブ 検索

編集後記

今回の現場では、タイベック®を施工する職人さん一人ひとりの意識が非常に高く、熱心に研修講師の千葉氏に質問し、議論されていました。また、六車氏の高い施工技術にも触れた現場の士気の高まりも感じられました。常に進化し続けるロジックアーキテクチャさんの家づくりのこだわりのひとつを垣間見ることができ、非常に良い研修会に参加させて頂きました。

※この「CLUB NEWS LETTER」に関するご意見、ご要望があれば、ぜひこちらへお寄せください：takashi.ichikawa@dupont.com

タイベック®ユーザー サポートクラブ

CLUB NEWS LETTER

雨仕舞いのための技術研修会をレポートします!

Vol.8 2015/04



住宅雨仕舞いのための 技術向上研修会 視察レポート

今回は熊本県内で高品質かつ高耐久な家づくりをしているロジックアーキテクチャさんで更なる住宅雨仕舞いの向上を目指した研修会が行われると
いうことを聞き、視察に行ってきました。元々の施工品質が高い同社でありながら、更に技術を向上させるにはどうすべきかという観点で、講師にCK WALL TEC 代表・千葉龍生氏、
施工士・六車竜也氏を迎え、現場監督さん、サイディング職人さん、大工さんなどが集まり、意見交換されていました。そのなかでも参考になる箇所についてレポートします。



技術向上研修会 5 つのcheckポイント

POINT 1 玄関ドア

今回の物件では、玄関ドアと入隅部が接近しているため、多少テープが張りにくい箇所となっていた。このような場合は上から下までテープを1発で施工することが難しい。多少手間が掛かって、下から何度かに分けてテープを張りついでいくことにより、テープのヨレがほとんど無くなる。



POINT 2 サッシ開口部

通常、窓台へ水切りシートを施工し、その下から差し込むようにタイベック®を施工する部位である。ここで差し込むタイベック®の端部を折り返すことにより、万一の吹き込みの際の水返しになる。また、窓下に施工するタイベック®は、一旦、開口側より30cmほどの長さのところまで切り落とし、サッシの側部から新たにタイベック®を施工することでシート全体のヨレが少なくなり、十分な重ね幅も取ることができる。



別の部位では、開口部同士が隣接している箇所があった。ここでは、プチルテープを入隅部分へ丁寧に施工し、その上から水切りシートで補強した。これで完全に雨水浸入を防ぐことができる。サッシをはめ込んだ後は、防水施工が出来ない部位となるため、事前に注意したい箇所である。

POINT 4 軒天周り

タイベック®はしっかりと軒天より張り上げることが基本である。万一、雨水が吹き込んだ場合に壁体内に雨水が浸入することを防ぐためだ。この現場では、妻側の母屋が張り出しているため、その周りの止水処理も重要となる。ここでは伸縮性防水テープでしっかりと固定している。



POINT 5 タイベック® 施工全般

出隅・入隅部でのシートは一気に張った方が良いのか、それともわざわざ切り落として、重ね張りした方が良いのかという議論が現場であった。ここについては、様々な考え方があがるが、いずれも間違った施工ではない。しかしながら、1発施工の場合は少しのズレが次第に大きくなりシートのシワを寄せてしまう恐れがあるため、適宜、張り緊いで行ったほうがズレが少なく綺麗に施工できる。その場合はもちろん、しっかりと重ねしろを取ることが条件となる。屋根の妻側軒天部でのタイベック®施工は斜めに張るべきか、それとも真っ直ぐ水平に張り、タイベック®の上部を野地板の勾配に沿って切り落とすのかというのも悩ましいところである。タイベック®は水平に施工することが基本ではあるが、今回の現場のように、勾配の緩やかな屋根では斜めに張る方が雨仕舞いが良い。水平に施工し、タイベック®を鋭角に長く切り落としていくと、先の方では細長い状態となり、端部での雨仕舞いが悪くなるからだ。尚、斜めに張る場合は、タイベック®の下部が位置するところで墨打ちし、そこに合わせてタイベック®の下部を先に留め付け、上に張り上げると綺麗に施工することができる。



POINT 3 板金水切り

最近では、板金水切りにあらかじめ両面テープが貼り付けられているものがあるので、通常はタイベック®を上から被せて圧着すれば雨水浸入は防ぐことが可能だ。しかしながら、今回の現場では掃き出し窓台に取り付けた水切りシートの下部にタイベック®を差し込むことが出来なかったため、両面プチルテープを使い、確実に水切りシートと板金水切りが固定されるようにすべきではないかと判断し、実施された。



熊本県下で一流の建築家がつくる個性のある家を
高いクオリティと手の届く価格で提案

Logic Architecture co.,Ltd.

logic architecture / 株式会社ロジック
代表取締役 吉安 孝幸
〒869-1108 菊池郡菊陽町光の森6-19-5-B
<http://www.arc-logic.net/>